

糖尿病ケアサポートチーム ニュースレター

第7刷

内科Ⅱ / 臨床研究開発センター 特任助教 曹 圭龍 先生 ご挨拶

近年、食生活の欧米化（動物性蛋白質、脂質を食べる割合が増え、炭水化物、食物繊維を食べる割合が減る）、運動不足等による『肥満』が問題となっています。平成27年度の国民健康・栄養調査によりますと、肥満のある方（肥満の目安を示す肥満指数 Body Mass Index : BMIが 25 kg/m²以上）の割合は、男性29.5%、女性19.2%であり、特に男性では、過去50年間で肥満が倍増しています。

肥満は、それ自体が骨や関節の病気の原因になり、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの代謝疾患を引き起こしたり、合併症を悪化させます。たとえば、心臓や脳の血管が詰まる心筋梗塞、脳梗塞、他にも脂肪肝、腎臓の機能低下、睡眠中に呼吸が止まる睡眠時無呼吸症候群、月経異常など、様々な健康障害を引き起こします。肥満の中でも、医学的に減量が必要な『肥満症』と診断されると、多くの場合、減量のための治療を要します。

北海道大学病院では、肥満症の治療として、食事と運動を基本に、お薬による治療など、様々な治療法を提供しています。中でも、手術療法は、高度肥満（BMI ≥ 35 kg/m²）の患者さんに対して、大幅に体重を減らせる有効な治療法のみならず、糖尿病などの代謝疾患、合併症を改善させる治療法として注目されています。

あなたのBMIを計算してみましょう。

$$\text{BMI} : \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)} \div \text{身長(m)} (= \text{kg/m}^2)$$

25以上が肥満です。



新しく4名のメンバーが日本糖尿病療養指導士(CDE)になりました。



内科Ⅱ外来Ns
佐々木 美香

私は、内科Ⅱ外来に配属となり3年目になります。先輩CDEの患者さんへの関わりをみて資格を持ちたいと思い、この度、資格を取得することができました。これから経験を積み、チームの一員として、患者さんが自立した自己管理ができるような療養指導をしていけるよう頑張りたいと思います。



検査・輸血部
林 泰弘

検査・輸血部の林と申します。CDEを取得したことで、業務中に接している検査のことだけではなく、薬・食事・運動など、多くを学ぶきっかけになりました。これからも新しい知識を身に付け、学んだことを活かしていきたいと思えます。



11-2病棟 Ns
本多 恭介

知識、経験ともに未熟ではありますが、今後はCDEとして、糖尿病ケアサポートチーム、糖尿病教室の運営に少しでも貢献出来るよう頑張ります。活動を通して、病棟の糖尿病看護の質の向上を目指していきたいと思えますので、今後とも宜しくお願い致します。



薬剤部
宮前 祐士

11-2病棟担当薬剤師の宮前です。糖尿病教室も担当させていただき、みなさんの薬についての理解が、より深まる様に、日々、業務を行っております。薬について、何か気になる点がありましたら、いつでも気軽に声を掛けて下さい。

インスリン・糖尿病治療薬のeラーニングが新しくなりました！

2019年4月1日から、eラーニングのテスト『インスリン・糖尿病薬』をリニューアルしています。内容を再検討し、より皆様の臨床に役立つ内容になっています。是非、お役立てください。

* 糖尿病看護認定看護師(CN) 看護部 11-2 : 佐藤仁美

* 日本糖尿病療養指導士(CDE)

看護部 11-2 : 本多恭介 11-1 : 原千晴 4-1 : 松田恵 7-2 : 伊藤友絵 12-1 : 吉田憲央
中央診療部 : 富樫恵美 外来 : 棚田郁子・大嶋美紀・藤田真善美・横井亜友美・佐々木美香
検査輸血部 : 山田幸穂・村上望・岩崎澄央・林 泰弘
栄養管理部 : 吉田ゆか・西村雅勝・坂田優希
薬剤部 : 樋口一世・宮前祐士

糖尿病に関する相談を
受けつけています。

糖尿病看護認定看護師
佐藤仁美

内線 5815
PHS 82126